

原子力発電所事故後に県内で収集された稲わらの放射性物質の検査結果について

このことについて、放射性物質の検査を行ったところ、下記のとおり、暫定許容値を上回る数値は検出されませんでした。

記

1 検査結果 (単位：Bq/kg)

測定日	測定場所	飼料名	採取地等	検査結果		
				放射性ヨウ素 131	放射性セシウム134と137の合計	
					測定値	換算値(注4)
7月27日	B	稲わら	八戸市	検出されず	検出されず	検出されず
7月27日	B	〃	三戸町	〃	〃	〃
7月27日	B	〃	五戸町	〃	〃	〃
7月27日	B	〃	五戸町	〃	〃	〃
7月27日	B	〃	五戸町	〃	25.7	5.9
7月28日	B	〃	田子町	〃	検出されず	検出されず
7月28日	B	〃	田子町	〃	〃	〃
7月28日	B	〃	階上町	〃	〃	〃
7月28日	B	〃	新郷村	〃	〃	〃
7月28日	B	〃	新郷村	〃	34.6	7.9
7月27日	A	〃	つがる市	〃	検出されず	検出されず
7月27日	A	〃	つがる市	〃	〃	〃
7月27日	A	〃	十和田市	〃	〃	〃
7月27日	A	〃	十和田市	〃	〃	〃
7月27日	A	〃	十和田市	〃	〃	〃
7月28日	A	〃	十和田市	〃	〃	〃
7月28日	A	〃	十和田市	〃	〃	〃
7月28日	A	〃	十和田市	〃	32.8	7.5
7月28日	A	〃	十和田市	〃	37.9	8.6
7月28日	A	〃	十和田市	〃	検出されず	検出されず
7月28日	A	〃	東北町	〃	〃	〃
7月28日	A	〃	おいらせ町	〃	〃	〃

注1) 測定機器：EMF211型ガンマ線スペクトロメータ

2) 定量下限は、ヨウ素131が20Bq/kg、セシウム134が25Bq/kg、セシウム137が20Bq/kg。

3) 測定場所のAは地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所、Bは同下北ブランド研究所。

4) 換算値：水分含量80%として、設定されている粗飼料の暫定許容値と比較するため、稲わらの水分含量を12.2%として補正した値。

5) 試料の採取は、7月25日～26日。

【参考】 牧草等の放射性物質の暫定許容値（農林水産省）

（単位：Bq/kg）

区 分	放射性ヨウ素	放射性セシウム
乳用牛（経産牛及び初回交配以降の牛）	70以下	300以下
肥育牛（出荷前15か月程度以降の牛）	農産物で出荷制限が行われていない地域で生産された粗飼料	300以下
その他の牛（乳用牛及び肥育牛以外の牛）		5,000以下

※ 暫定許容値とは、給与される粗飼料中に含まれることが許容される放射性物質の最大値のこと。